

経営比較分析表（令和元年度決算）

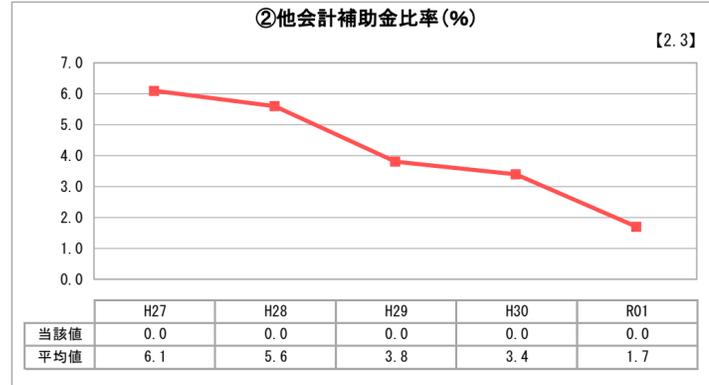
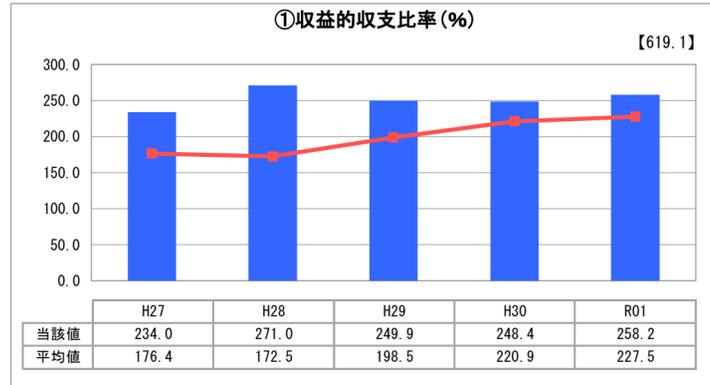
青森県 県営駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 屈出駐車場	立体式	36	

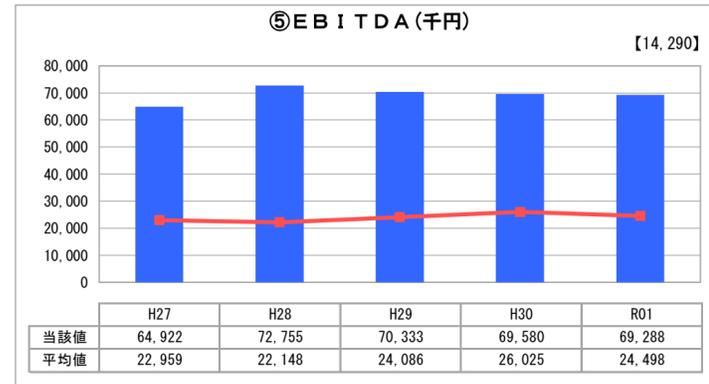
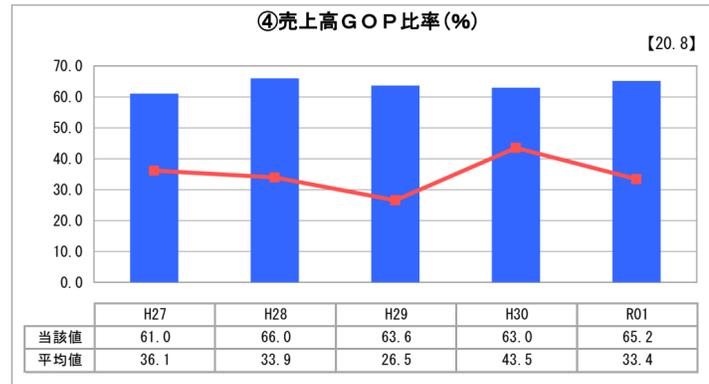
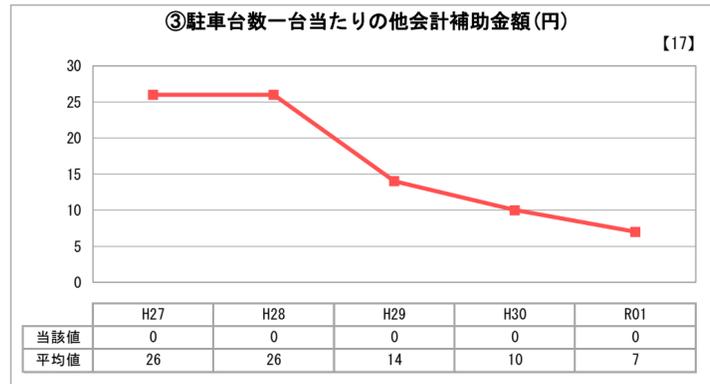
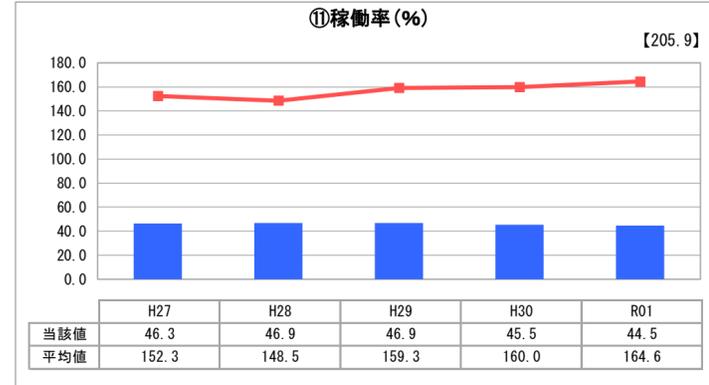
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	5,974
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
510	210	代行制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

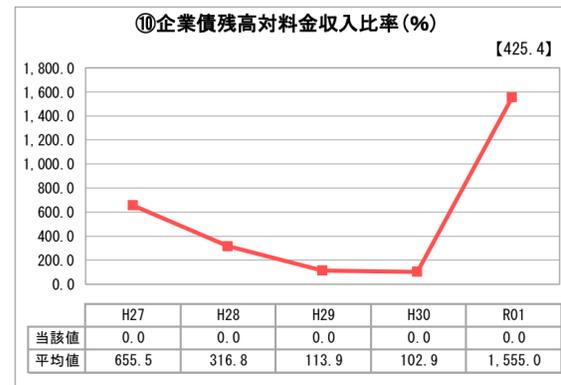


⑦敷地の地価(千円)

188,206

⑧設備投資見込額(千円)

-



分析欄

1. 収益等の状況について
 青森県営駐車場は、510台という駐車枠を活かした黒字事業として運営しているところである。そのため、④売上高GOP比率及び⑤EBITDAの数字は好調であり、また、②他会計補助金比率及び③駐車台数一台当たりの他会計補助金額のとおり、他会計補助金額に頼らず運営している。

2. 資産等の状況について
 青森県営駐車場は、築36年を迎えており、今後、老朽化対策を検討していく必要がある。

3. 利用の状況について
 青森県営駐車場は、一定時間の出入りを自由とする定期券の販売も行っており、現在はこれが売上げの大きな部分を占めている。収容台数に対する一日当たり平均駐車台数の割合である⑩稼働率については平均を下回る低い数字であるが、これは、駐車時間の長い定期券利用者が多く、駐車時間の短い時間極め利用者が少ないためである。

全体総括
 青森県営駐車場は、510台という大きい駐車枠を有する立体駐車場であるため、④売上高GOP比率及び⑤EBITDAに見えるように一定の収益を確保できている事業である。駐車料金収入の減少や施設の老朽化へ対応するため、令和3年度から青森県営柳町駐車場と併せて大規模修繕、施設の維持管理及び運営を一体的に行うPFI法に基づく事業を実施することとした。管理運営主体は民間事業者となるため、県では、業務の要求水準を安定的に充足できていることを確認するため、モニタリング等を実施し、引き続き経営改善に努める必要がある。